



# 校長室だより

黒部市立荻生小学校  
文責：校長 寺島紀子  
令和4年9月8日  
第21号

## 心穏やかに、やる気をもって、2学期がスタートしています

いよいよ先週から第2学期が始まっています。校長室だよりも再開です。よろしくお願いいたします。  
幸い、今のところ新型コロナの感染も抑えられ、全校的に落ち着いた様子で2学期をスタートしています。一人一人の子の表情が柔らかく、どの教室もチームワークよく温かい雰囲気です。夏休み中に友達とたっぷり遊んだり家族と十分にふれ合ったりして、心も体もしっかり充電できたからでしょうか。また、自主学習を続けたり新しい体験をしたりして、自信がついた子もいます。嬉しいことです。身体測定や新しい係決め、漢字・計算大会等、新学期ならではの行事や取組も順調に行えています。



## ★毎日の授業は「や・か・た」に挑戦し、成長できる場 大切に取り組みましょう

先日の学校だより「萩の里」にも書いたとおり、2学期はさまざまな機会を生かし、一人一人が（子供も、そして大人も！）自分なりの挑戦をし、成長していける学期になればと思います。大きな行事は気合いも入り張り切って取り組めますが、まずは何より学校生活の大部分を占める授業の時間を大切にしたいということ、去る1日（木）の始業式で話しました。授業時間は荻子の目指す「や・か・た」を日常的に意識して取り組める場だからです。



### 【やさしく（思いやりをもち、助け合う子供）】

- ・ 友達の間違いを笑ったりバカにしたりしない。  
（その間違いの中に大切なヒントが隠されていることもある。）
- ・ 分からないことを友達に聞いたり、互いに教え合ったりする。

### 【かしこく（めあてをもち、進んで学ぶ子供）】

- ・ 見通しとめあてをもち忘れ物をせずに授業に参加する。
- ・ 「なぜだろう、もっと知りたい、上手になりたい」の心で取り組む。

### 【たくましく（健康で、ねばり強く努力する子供）】

- ・ 健康を心がけ、できるかぎり授業に参加する。
- ・ 少しくらい分からないことや上手い出来ないことがあっても、すぐにあきらめたり投げやりな気持ちになったりせずに、ねばり強く取り組もうとする。

時には苦手な授業や教室にいたくない時間もあるかもしれませんが、授業前より授業後、登校時より下校時、昨日より今日と一歩ずつでも成長が実感できるようにがんばってほしいと思います。

## 9/5(月)~7(水) 校内夏休み作品展

3日間だけの開催でしたが、保護者の皆様にご来場いただきありがとうございました。

子供たちも授業時間や休み時間に多数参観し、友達や他学年の子の作品に見入ったり、自分の作品を説明したりしていました。一人一人が夏休みに真剣に取り組んだからこそ、自分の作品への思い入れがあり、また友達の苦勞を想像したりできる

のだらうと思います。素晴らしい研究を見て次からの参考にしようと考えた子もいたことでしょう。子供の興味に合った何よりのよい学習です。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

# 運動会に向けて

17日(土)の運動会に向けての準備が始まっています。グラウンドや体育館での練習のほか、大会スローガンづくりやそれぞれの係の準備、また音楽の授業の時間に鼓笛の練習をする学年もあり、しばらくは全校が運動会モードです。また先日の保健だよりでお知らせしたとおり、熱中症対策の関係で、運動会終了までの期間は体操服の裾出し可、スポーツドリンクの持参可(水筒に入れて)としています。健康安全に気を付け、短期集中で運動会に向けて準備・練習に取り組んでいきます。

毎日の練習の様子等は学校ホームページでもお知らせしていきますので、ぜひご覧ください。



## シリーズ「教室におじゃまします」9/5(月)3年算数科の巻

2学期の始めらしく、算数の学習も新しい内容でした。子供たちはこれまでに10000までの数を学習していますが、これから10000より大きい数を調べていきます。

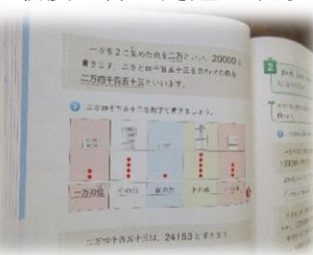
教科書には例として、あるテーマパークの入場者数を示す入場券の絵がかかれていました。1000枚の束が24、100枚の束が1、10枚の束が5、バラが3

で「24153!」と何人かの子が大きな声で反応しました。簡単そうです。ただ、岡本先生が「10000の束はいくつあるということ?」と問い返すと、「20」「24」という声がちらほらと聞こえ、理解できているのか少しあやしい様子です。

「10000は1000が...」「10!」「だから、これが10000の束だ!」と図を大きく囲み、皆で確認しました。10000の束は2、残る1000の束は4です。「1万が2で2万。2万と書きたいときは20000」

「24153を漢字で書くと二万四千百五十三」とどんどん確認します。こういうときは教科書の位取りの図が頼りになります。さすが教科書、あなどれません。そして最後は練習問題に取り組みました。

もしかするとお年玉の合計金額などで10000より大きい数にもうなじみがある子が多いのじゃないかな。「大きい数に興味をもっているのがいいですね!次はもっと大きい数にいきましょう」と先生が話し、この日の授業が終わりました。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

校長室だより第21号への感想

年 児童名